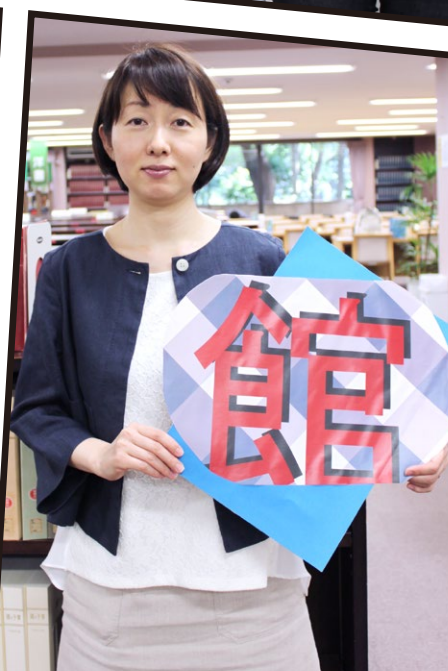




だから私は♡



図書館へ! ☆☆☆



あなたにとって、図書館は本を借りるところ？ 勉強するところ？

なぜ図書館へ行くのかは人によってさまざま。

そこで今回は、ヘビーユーザーならではの「図書館を使う理由」を教えてくださいました。

だから私は
図書館を
使います

図書館イベントに参加すると お得なことがたくさんある！

文学部日本語日本文学科 4年

一番よく使う場所・サービスは？

3階コンピュータ利用閲覧室のパソコンを使ったり、2階参考室で参考書を利用したりしています。また、大学図書館で開催される多くのイベントにいつも参加しています。

参加された図書館主催のイベントについてお聞かせください。

はい。「本屋に遠足」は少なくとも3回以上参加していますし、一昨年は大学図書館1階の展示企画を担当しました。1世にも、「本のMUSHIの会」へ参加をしたり、昨年秋に実施された大学図書館セミナー「本づくりのウラガワ」も興味があったので聞きに行きました。



1階資料展示企画の準備風景

多くのイベントに参加してみて、いかがでしたか？

参加することで得られるものがそれぞれにありました。例えば大学図書館セミナーでは、そのテーマについて知るために本を読むとなると時間がかかるな、とか重たいな、と思ってしまうのが、セミナーですと視覚と聴覚だけでその世界が垣間見えるので、取っ掛かりしやすくなります。「本屋に遠足」は、ある一つの本を探して終りではなく、隣の本も見てみてこれも楽しそうだというように、新しい本との出会いが無限に広がるイベントですね。「本のMUSHIの会」は少人数制なので敷居が高いような気もしたのですが、堅い本だけでなくSFなどの本も紹介されていて新しい発見がありました。この会で知り合った学生同士でLINEのグループを作って交流もしています。



本のMUSHIの会でオススメ本を紹介中

図書館から

大学図書館では年間を通じて数多くの学生参加型企画・イベントを実施しています。WebサイトやG-port、館内ポスター等で随時広報していますので、お見逃しなく！
※来ぶらりNO.97(2015年4月発行)では、大学図書館で実施している企画・イベントの概要をすころく形式で紹介しています。大学図書館Webサイトで閲覧することができますので、是非そちらもご覧ください。

経済学部経済学科 3年

だから私は
図書館を
使います

自習するのに便利な場所がある！ 新しいことを始められる場所がある！

一番よく使う場所・サービスは？

3階の閲覧室やコンピュータ利用閲覧室です。週に1、2度来て自習のために利用しています。もともと図書館は静かで勉強するのに適している場所だと思うので、有交が活用しています。

今年の春、図書館サポーターとして活動していただきましたね。

何か応募するきっかけがあったのでしょうか？

G-portでのお知らせを偶然、春休みが終ると真に見たのがきっかけです。春休みに何かしておきたいなと思っていたのと、ちょうど新しいことを始めてみたい気持ちもあって、応募してみました。

初めて図書館サポーターとして活動してみて、いかがでしたか？

まず1年生はかあいいなと思いました(笑)。あと、サポーター活動を通じてコミュニケーション力が付いたと思います。全く知らない人にどのように話しかけようか始めは悩んだのですが、最初に「こんにちま」とまずは言うのが大事だということを知りました。度胸がついたと思います。

図書館サポーターをやってみたいと思っている方に一言どうぞ。

何か新しいことを始めたい人におすすめです！

図書館から

大学図書館では、4~5月にかけて新入生の図書館利用をサポートしてくれる学生を毎年募集しています(募集は3月)。興味のある方、お待ちしております！



サポーター(右側)活動中

だから私は
図書館を
使います

目的によって使い分けできる！

理学部数学科 3年

一番よく使う場所・サービスは？

すぐに数学の本が見に行ける1階の書架近くの閲覧席ですね。他には、持込パソコンで勉強の資料を作成する時には3階のグループラーニング室、勉強する時には2階の参考室の奥の閲覧席(空いているので穴場です)をよく使っています。

勉強に必要な本は図書館内で読み、趣味で読む小説などの本は借りて家で読む形で資料を利用しています。人気作家の新刊など、地元の公共図書館では予約待ちの本も、大学図書館ですぐに借りられることも魅力です。また、新刊本が並び「本屋に遠足」コーナー(1階階段脇)は定期的にチェックするようにしています。様々な種類があるので面白そうな本に出会えます。

実は、数学科の図書室があることが決め手で学習院大学に進学しました。それくらい本や図書館が好きでよく利用しています。

必要に応じて図書館を上手に活用されているんですね。

他大学の図書館も利用されていると聞きました。

例えば学習院大学図書館は試験期以外の日曜日が休館なので、日曜日でも図書館を利用したい時には立教大学図書館(池袋キャンパス)を利用しています。ここからだと歩いて行ける距離です。



「本屋に遠足」コーナーをチェック中!

図書館から

学習院大学の学生は、協定を結んでいる他大学図書館の入館・閲覧・貸出サービスが利用できます。利用できる期間やサービス等は大学により異なりますので、大学図書館Webサイトにてご確認ください。

人文科学研究科(美術史学)
博士後期課程 3年

だから私は
図書館を
使います

レファレンスサービスを利用すると 研究調査がスムーズに進む！

一番よく使う場所・サービスは？

研究に欠かせないデータベース等をよく使っています。他には、レファレンスサービスです。2階のレファレンスカウンターはもちろん、OPACのMyGLIM画面から24時間申し込みができるレファレンス質問は、レファレンスカウンターに直接行けない時でも、開館時間を気にせず利用できるのもとても便利です。

よく利用されているレファレンスサービスについてお聞かせください。

はい。大学図書館レファレンスサービスを通じて、未整理の資料や、一般には公開されていない資料を見せていただいたり、それらの撮影や複写を許可していただくことができました。探していた資料がなかったという場合でも、回答をくださった方から調査結果のアーカイブのリストをいただけて、とても勉強になりました。さらに別の資料がないか調べてくださったりなどもありました。



レファレンスカウンターにて

確かに、個人では限界のあることも、大学図書館を通じて調査や取次ぎ等を行うことで結びつくこともありますね。個人で資料照会等の手続きをすることもありますが、レファレンスサービスを利用することのメリットはなんですか？

一般企業の資料室など、個人ではアクセスしにくい照会先の場合、レファレンスサービスを通すことでスムーズに手が進みます。学部生、博士前期くらいまでは、迷ったらまずはレファレンスカウンターを頼ってみるのがオススメです。一方で博士後期になると、ネットワークを作っていくために自分自身で動くことも大切だと思います。

図書館から

大学図書館では2Fのレファレンスカウンターにて学習・研究・調査をする上で必要な資料や情報を探してお手伝いをしています。また、MyGLIM「レファレンス質問」にてオンラインでも24時間質問を受け付けています。

だから私は
図書館を
使います

グループで貸切利用できる部屋がある!

法学部政治学科 2年

貸切利用ができるだけでなく、
持ち込みDVDが見られるのはとても便利です!



大学図書館には、3名以上のグループで貸切利用ができる
部屋が3部屋あります。学生の皆さんはどなたでも利用で
きますので、是非ご利用ください!
一部の部屋には、ホワイトボードのほか、DVD等が視聴
できる各種機器も備え付けられています。



思いがけない使い方、新発見があったでしょうか。
図書館のサービスから知られざる穴場スポットまで、学生生活が少し便利になる図書館の使い方
をご紹介します。
是非、この機会に図書館に立ち寄ってみてください。



知の迷宮から持ち帰った一冊の宝石

かけら

史料館学芸員
富田ゆりさん



芹沢光治良の自伝的小説『人間の運命』

「わたしの本棚」という言葉から、まっ先に思い浮べたのは、子どもの頃にしのびこんだ父の書斎の本棚だ。天井まで伸びたそれに整然と並ぶ蔵書から背表紙が美しい本を見つけては、読めもしない洋書のページを繰るのが心地よかった。中学生の時、『巴里に死す』という一冊が目にとまり、こっそり自室に持ち帰った。1920年代のパリを舞台に日本人女性の自立への精神的葛藤を描いた話をどれだけ理解できたかはあやしいが、これが愛してやまない作家・芹沢光治良との出会いだった。まもなく近所の古本屋で、全14巻の『人間の運命』を見つけ、お年玉をはたいて購入した。少しだけ大人に近づいたような感覚に心が踊った

のを覚えている。

気に入った作家の本はすべて読みたくなる性分でヨハンナ・スピリ、モンゴメリ、須賀敦子、加賀乙彦などひと通り読んでみたが、「わたしの本棚」の特等席には今でも芹沢が座り続けている。

現在、私にとって大切な本棚が一つ増えた。目白キャンパスの一室にある作家・フランス文学者の辻邦生(1925-99)の蔵書棚だ。ここには全著作本が初出誌とともに壁際の本棚を埋め尽くしており、私は学芸員としてここで辻資料を整理したり研究したりしている。この部屋では辻お気に入りの「3匹のクマちゃん」達が番人として見張っているので心強い。



辻邦生の蔵書部屋とクマちゃん

※編集委員追記：『巴里に死す』〈大学図・1F開架 913.6A/Se83p〉『人間の運命』〈女大図・書庫 913.6/48〉

来ぶらり No.101 2016年9月16日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
発行責任者：遠藤久夫教授 編集委員：内藤沙織・藤本智美
1階貸出・返却カウンター（内線 2397）：☎ 03-5992-1009（直通） 2階レファレンスカウンター（内線 2395・2396）：☎ 03-5992-9249（直通）

「来ぶらり」のバックナンバーは（<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>）で公開しています。

ISSN 2186-6724